

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
校長氏名	内田 敏夫
作成日	平成 29年 2月20日

1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する

(ふ) 深く考え、進んで学ぶ子

(き) 気概をもち、めあてに向かって働く子

(あ) あったかい心をもち、なかまとみがきあう子

(げ) 元気いっぱい、体をきたえる子

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	(1) 積極的に学校を開放し、育友会や吹上地区各種団体との連携を密にする。 (2) 学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる機運を高める。 (3) 安全・安心な学校づくりをめざし、セキュリティー面や個人情報の保護等にも十分配慮していく。	(1) すべての教育活動を通して、一人一人を大切にする。 (2) 教師と子どもの人権感覚を磨き、きめ細かな指導を通して、人間性の高揚を図る。 (3) 地域や地域の人たちや自然に関心を持ち、つながりを深め教師と子ども、子ども同士の相対性と関係性の高揚に努める。	(1) 一人一人の子どもの性向を把握し、その性向に応じた指導を行う。 (2) 一人一人の「よさ」を生かした生き方の基礎を培う教育活動を展開する。 (3) 「算数科教育」の実践研究を通して、自分の考えを「かく」、「説明する」、「考えをつなぐ」ことを通してより主体的に学ぶ力・論理的な思考力を育む。
取組の状況【D】	子どもたちの体験や遊びの幅は、多様な体験学習や工夫した学校行事、土曜チャレンジへの積極的な参加、PTA主導での放課後運動場を開放などから高まってきている加えて、授業参観や教育講演会、学校便り「たまも」や学級通信などを通して子どもの活動状況を広く伝え、保護者意識の改革を図っている。	教科学習、朝の会や終わりの会、清掃活動や児童会活動等、教育活動全般を通して、「チーム吹上」を合言葉に、子ども一人ひとりの心に響く指導に心がけている。加えて、ゲストティーチャーを招いての活動や、様々な体験的活動を多用し、子どもの感性を高める取り組みをしている。	算数科の授業研究のみならず、道徳や各教科の学習過程の最適化を図り、指導と評価の一体化に努めている。本年度の算数科における研究発表では、まずまずの手ごたえをただだけでなく、教員相互の資質の向上も図れた。加えて、体力・運動能力の向上のため早朝練習(陸上・バスケット)にも努めている。
取組の成果と課題【C】	より良い学校を創るための保護者あてアンケートの結果は、調査項目すべてにおいて好意的反応が80%を超えていた。また、本校の教育理念や行事の結果等を知らせる学校便り「たまも」、授業参観や教育講演会は、好評を得たことからまずまずの成果であった。次年度も続けていきたい。	「チーム吹上」の教育理念が浸透し、教職員が一丸となって勢いを感じる。また、PTAでも同様の取り組みがなされ相乗効果を見ることができた。次年度は、子ども・教師・保護者・地域の方々の「人権意識を高める」ための研修等の在り方を見直し、改善することが課題として残っている。	本年度も全国学テの正答率は、全国平均を上回っていた。加えて、基礎学力向上のための個に応じた指導、国語科・算数科の徹底復習、読書活動の奨励やうちどくなどを推進しそれなりの成果を収めた。しかし、個人差が激しい課題が残る。一方、新体力テストの結果では、体力・運動能力は、ほぼ全国平均並みだが個人差のバラツキが見られた。これを改善する方策が課題として残った。
次年度に向けての改善方法【A】	次年度は、新しい取り組みとして、「学校運営協議会(コミュニティスクール)」を立ち上げ、学校・保護者・地域が一体となって、子ども個人をさらに見つめ、生かし、育てていきたいと考えている。加えて保護者や地域への関わり方の工夫・改善を図りたい。	次年度は、本年度以上に「人権意識の高揚」、「本物の芸術や職人芸などに触れる機会」、「出前授業の活用」、「体験活動やホンマモン体験」を推進するようにする。とりわけ、「人権コーナー」を設置し、教師・保護者子ども相互の人権意識を高めたい。	「チーム吹上」を合言葉に、文武両道をスローガンに掲げ、研究授業を基軸とした授業改善等を図っていききたい。とりわけ、教員相互の資質の向上を目指し、最高の教師集団を構築するために、教師と子ども・子ども同士のコミュニケーション力の向上を図りたい。

3 その他の課題

◆「チーム吹上」の教育理念が教職員のみならずPTAや子どもたちの中にも浸透し、学校・地域・保護者が一体となった勢いを様々な行事等を通して感じる事ができた。この勢いをさらに強固なものにするために鋭意努力していきたい。加えて、学習環境を整えるため、行政当局に働きかけた結果、トイレの改修やエアコンの設置等、一部学校施設の老朽化が改善されつつある。一方、ソフト面では、人権意識の高揚や家庭での子どもが取り組む学習課題、携帯電話やゲーム機、スマホ等の使い方、外遊びの少なさなどの課題も見え隠れしている。これらの課題については、様々な機会を通して啓発したり改善したりしていきたいと考えている。

